

## withコロナ、子ども達への影響は…？

地域連携課子ども相談係 公認心理師（金井、田原、宮内）

withコロナの日々は、たくさんの我慢や制約を求めてきました。子ども達にとっては、煩わしいマスクを身につけ、手洗いや消毒を繰り返さなければなりません。学校が突然休みになったり、接触がある一部の遊びができなくなったり、使うことができなかった遊び場もあります。現在は、少しずつ緩和の兆しもみえてきていますが、このような我慢や制約が続くことで、もしも子ども達に「どうせコロナでできないし…」「わがまま言ってはダメなんだ…」など諦めに近い心理状態が生じてしまい、本来の子どもらしい感情や欲求が出づらくなってしまふことがあったら、発達的に心配なことだと考えています。

コドモックルのスタッフからも、子ども同士が触れ合って遊ぶ機会が持ちづらいことや手で触れる感覚遊びが少なくなっていることへの心配、プレイルームの使用が限られ子どもに我慢をさせてしまっていることへの忍びない気持ちなどが聞かれています。また、自粛生活のなか、散歩など外気に触れ季節を感じる時間が、子ども達の気持ちを安定させ発達を促すために欠かせない大事な経験であることを改めて実感したという声もありました。

そしてwithコロナの日々は、私達スタッフにとって、この状況に負けることなく、子ども達の「もっといろいろな事をやってみたい！」「友達と一緒にたくさん遊びたい！」という気持ちを支えるために、様々な情報を集め試行錯誤してきた日々でもありました。

ここでは、コドモックルで取り入れられている遊びに関する工夫について、いくつかご紹介したいと思います。

**使用済み玩具Box**

病棟の共有プレイルームで、遊び終わった玩具を、その都度入れてもらう箱です。消毒し、戻しています。

**センサリーバック**

密閉袋へ頭髮ジェルや洗濯糊を入れ、ビーズやジェルボールを混ぜます。段ボールを台紙に、袋の上から様々な感触を楽しめ、消毒も簡単です。

**ペットボトル空気砲**

ペットボトルに上部分を切った風船をかぶせて作った空気砲です。風船部分を引っ張り中の空気を発射します。手軽に人数分を用意でき、的当ての他、紙相撲で対戦することもできます。

(次頁につづく)



### 新聞紙バット

テーブルは市販バットを共有せず、新聞紙を丸めた使い捨てのマイバットで行っています。

これからも'楽しさ'と'安心'を大切に、子ども達の生活を見守っていきたいです。

## サンタクロースがやってきた！

12月23日（木）、今年もコードモックルにサンタクロースがやってきて、子どもたちにプレゼントを配っていきました！また来年もきてくれるかな！？



## プレイルームの利用制限を緩和しました

新型コロナウイルス感染症の感染対策のため実施していたセンター内の外来・病棟のプレイルームの利用制限を令和3年10月より一部緩和しました。今後も市中の感染状況等に応じて、対策の強化や緩和に柔軟に対応していきます。

コロナにともなう感染対策で子どもに過度の制限を強いるのではなく、職員を含めた大人達がしっかりと感染対策をして、子ども達を守りたいと思います。

